

令和2年度

入学者選抜要項

本冊子では、以下の入試区分の概要を説明しています。
具体的な出願方法等、詳細については別に発行する各入試の『学生募集要項』をご確認ください。

- 一般入試（個別学力検査：前期日程・後期日程）
・・・11月上旬本学ホームページで公開
（冊子での配付はありません）
- アドミッション・オフィス入試・・・7月下旬発行
- 帰国生徒特別入試・・・7月下旬発行
- 私費外国人留学生特別入試・・・7月下旬発行

奈良教育大学

問い合わせ先

〒630-8528 奈良市高畑町

奈良教育大学入試課

TEL 0742-27-9126

E-mail nyuusi@nara-edu.ac.jp

ホームページ <https://www.nara-edu.ac.jp/>

目 次

インターネット出願の流れ	1
I. 教育学部入学定員及び募集人員	2
II. 令和2年度奈良教育大学入学試験日程一覧	3
III. 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)	4
IV. 個別学力検査等への出願について	4
V. 一般入試(個別学力検査等)	5
1. 出願資格	5
2. 選抜方法	6
3. 個別学力検査の日程	6
4. 出願方法	6
VI. アドミッション・オフィス入試	6
1. 選抜方法等	6
2. アドミッション・オフィス入試の日程	6
VII. 帰国生徒特別入試	6
VIII. 私費外国人留学生特別入試	7
IX. 障害を有する入学志願者との事前相談	7
1. 相談の期日	7
2. 相談の方法	7
3. 提出先	7
X. 学生募集要項の請求方法等	7

郵便料金について

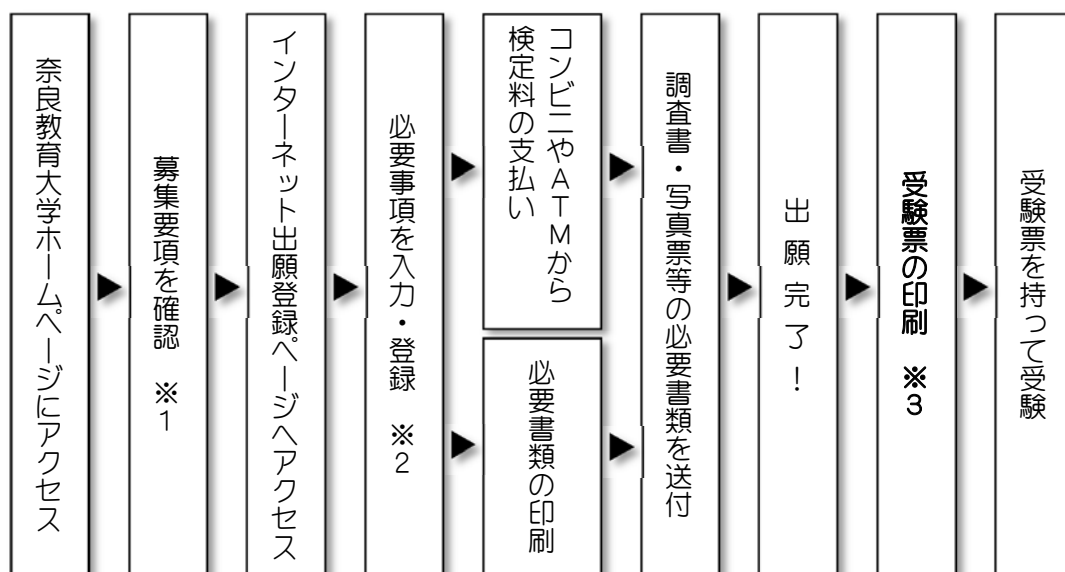
本入学者選抜要項に記載の郵便料金は、令和元年5月現在の料金です。郵便料金が改定があった場合は、改定後の料金分の切手を貼付してください。

大学入試センター試験の出題教科・科目名は、次のように表記しています。

- 国語 → 国
「国語」 → 「国」
- 地理歴史 → 地歴
「世界史 A」 → 「世 A」、「世界史 B」 → 「世 B」、「日本史 A」 → 「日 A」、「日本史 B」 → 「日 B」、「地理 A」 → 「地理 A」、「地理 B」 → 「地理 B」
- 公民 → 公民
「現代社会」 → 「現社」、「倫理」 → 「倫」、「政治・経済」 → 「政経」、「倫理、政治・経済」 → 「倫政経」
- 数学 → 数
「数学 I」 → 「数 I」、「数学 I・数学 A」 → 「数 I・数 A」、「数学 II」 → 「数 II」、「数学 II・数学 B」 → 「数 II・数 B」、「簿記・会計」 → 「簿」、「情報関係基礎」 → 「情報」
- 理科 → 理
「物理基礎」 → 「物基」、「化学基礎」 → 「化基」、「生物基礎」 → 「生基」、「地学基礎」 → 「地基」、
「物理」 → 「物」、「化学」 → 「化」、「生物」 → 「生」、「地学」 → 「地」
- 外国語 → 外
「英語(リスニングを含む)」 → 「英・英リ」、「ドイツ語」 → 「独」、「フランス語」 → 「仏」、「中国語」 → 「中」、「韓国語」 → 「韓」

インターネット出願の流れ

一般入試（前期日程・後期日程）は、インターネットによる出願にて受け付けをします。出願までの流れは以下のとおりです。



- ※1 一般入試（前期日程・後期日程）募集要項については、11月上旬にホームページ上で公開いたしますので募集要項の取り寄せは不要です。冊子での配付は予定しておりません。
- ※2 自宅以外のパソコンからでも出願登録ができます。また、出願期間中は入試課窓口において出願登録することも可能です。（インターネット出願利用マニュアルを備えていますので、安心してください。なお、事情によりインターネットを利用できない場合は早めに入試課まで連絡してください。）
- ※3 出願期間終了後、令和2年2月14日（金）までに受験票の印刷が可能になる予定です。受験票の印刷が可能になりましたら、本学の入試情報ホームページでお知らせします。

I. 教育学部入学定員及び募集人員

課程・専攻	専修・履修分野	入学定員(名)	募集人員(名)	募集人員内訳(名)						
				一般入試		特別入試(注1)				
				前期日程	後期日程	アドミッション・オフィス入試	帰国生徒	私費外国人留学生		
学校教育 専攻 課程	教育学専修	255	15	9	3	3	若干名	若干名		
	心理学専修		15	9	3	3				
	幼年教育専修		13	8	3	2				
	特別支援教育専修		12	7	3	2				
	国語教育専修		初等教育履修分野	25	13	9	2	2	若干名	
			中等教育履修分野		12	8	2	2		
	社会科教育専修		初等教育履修分野	25	14	10	2	2		
			中等教育履修分野		11	7	2	2		
	数学教育専修		初等教育履修分野	26	14	9	3	2		
			中等教育履修分野		12	8	2	2		
	理科教育専修		初等教育履修分野	29	17	11	4	2		若干名
			中等教育履修分野		12	7	3	2		若干名
	音楽教育専修		初等教育履修分野	18	14	8	4	2		若干名
			中等教育履修分野		4	3	1	—		
	美術教育専修		初等教育履修分野	11	7	3	2	2		
			中等教育履修分野		4	3	1	—		
	保健体育専修		初等教育履修分野	19	11	6	3	2		
			中等教育履修分野		8	4	2	2		
	家庭科教育専修		初等教育履修分野	9	5	3	1	1		
			中等教育履修分野		4	3	1	—		
	技術教育専修		中等教育履修分野	4	2	1	1			
	英語教育専修		中等教育履修分野	12	6	4	2	若干名		
	書道教育専修		書道教育専修	15	9	5	1	—	若干名	
			文化遺産教育専修	7	4	2	1			
	合計		255	255	156	59	40	若干名	若干名	

(注1) アドミッション・オフィス入試は、大学入試センター試験を課す特別入試です。アドミッション・オフィス入試の入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、前期日程の募集人員に加えます。

帰国生徒特別入試、私費外国人留学生特別入試の入学手続者があった場合は、前期日程の募集人員から当該数を減じます。

(注2) 一般入試において、以下の専修については、同一専修内に限り、初等教育履修分野又は中等教育履修分野のいずれかを第1志望に、他方を第2志望にすることができます。いずれかの履修分野を第1志望又は第2志望としたことにより、有利又は不利に評価されることはありません。また、第2志望を選択せず、第1志望のみの出願も可能です。

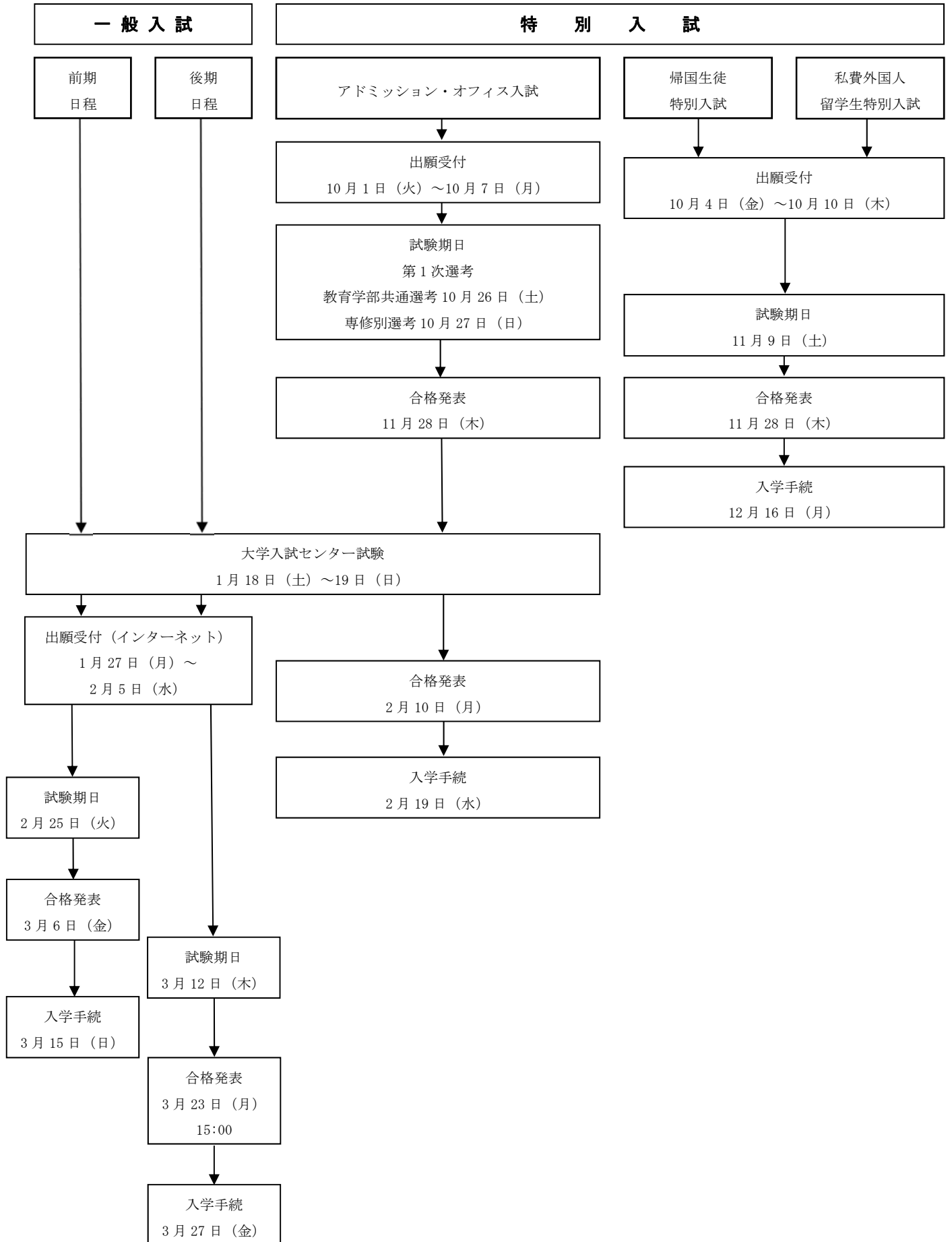
【前期日程】

国語教育専修、社会科教育専修、数学教育専修、理科教育専修、音楽教育専修、美術教育専修、保健体育専修、家庭科教育専修

【後期日程】

国語教育専修、社会科教育専修、数学教育専修、理科教育専修、音楽教育専修、美術教育専修、保健体育専修、家庭科教育専修

Ⅱ. 令和2年度奈良教育大学入学試験日程一覧



Ⅲ. 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

奈良教育大学は、未来を担う子どもの育ちを支援し、学ぶ喜びを伝え、自らも人として成長したいという学生が集い、互いに学び合う場です。また、世界遺産をはじめ、数多くの貴重な文化財や豊かな自然に恵まれた環境のもと、小規模大学ならではのメリットを生かして、深い学びを実現します。

教員を目指し、ともに学ぶ仲間として、奈良教育大学教育学部では、次のような意欲と能力をもつ学生を求めます。

1. 子どもの成長と発達に寄り添い関わっていく意欲をもつ人
2. 教育を通じてよりよい社会を築いていく意欲をもつ人
3. 文化、科学、芸術に魅力を感じ、その価値を子どもに伝えるための思考力と表現力を磨きつづける意欲をもつ人
4. 他者の意見や気持ちを受けとめ、自分の意見や思いを表現し、他者と協働しながら課題の解決に立ち向かうことができる人
5. 教育学部で主体的に学ぶために必要な基礎的学力や技能をもつ人

入学者選抜の基本方針

奈良教育大学は、教育学部の入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)に基づき、一般入試(前期日程・後期日程)、アドミッション・オフィス入試、帰国生徒特別入試ならびに私費外国人留学生特別入試により入学者を選抜します。

Ⅳ. 個別学力検査等への出願について

国立大学の個別学力検査等については、分離・分割方式によって実施します。

分離・分割方式

- (1) 入学定員を「前期日程」と「後期日程」の二つに分け、先ず、「前期日程」の試験を実施し、その合格者の発表を行い、合格者に入学手続を行わせ、次に、「後期日程」の試験の実施とその合格者の発表を行い、入学手続を行わせる。
- (2) この際、「前期日程」の試験に合格し、所定の期日までに入学手続を完了した者については、「後期日程」に出願し、受験しても、「後期日程」の大学・学部合格者とはしない。
- (3) 「前期日程」又は「後期日程」の試験に合格し、その入学手続を行わなかった者は、その「前期日程」又は「後期日程」の大学・学部への入学を辞退したものとして取り扱う。

国立大学志願者は、「前期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ、合計二つまでの大学・学部に出願し、受験することができます。

従って、「前期日程ー前期日程」、「後期日程ー後期日程」の組合せでの併願はできません。

「入試過去問題活用宣言」への参加について

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、アドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「宣言参加大学」及び「提供大学」の入試過去問題あるいは類似問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。

詳細は「<http://www.nyushikakomon.jp/>」にて公表しておりますが、不明な点等がありましたら、本学入試課へお問い合わせください。

V. 一般入試(個別学力検査等)【インターネット出願】

一般入試(個別学力検査等)に出願する場合は、**インターネットによる出願**を行ってください。ただし、事情によりインターネットによる出願ができない場合は、早めに入試課まで連絡してください。

1. 出願資格

本学に入学を志願することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者で、**令和2年度大学入試センター試験で本学が指定した教科・科目を受験した者**です。

※ 本学は、平成31年度大学入試センター試験の成績は利用しません。

- (1) 高等学校(特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。)を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者
 - (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。)及び令和2年3月修了見込みの者
 - (3) 学校教育法施行規則第150条における以下の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めたと者及び令和2年3月末までにこれに該当する見込みの者
 - ア. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - イ. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ウ. 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - エ. 文部科学大臣の指定した者(昭和23年文部省告示第47号)
 - オ. 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者で、令和2年4月1日までに18歳に達する者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)
 - カ. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めたと者で、令和2年4月1日までに18歳に達する者
- [注]上記(2)に該当する者は、高等専門学校の第3年次を修了した者です。

個別の入学資格審査の申請方法等

上記出願資格(3)カ.により出願を希望する者については、事前に個別の入学資格審査を行います。令和2年度入学試験においては、高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者又は卒業見込みの者が対象ですので、以下により申請してください。

(1) 申請期間

大学入試センター試験を受験する者：令和元年8月13日(火)～令和元年8月16日(金)(必着)
本学の個別学力検査を受験する者：令和2年1月20日(月)～令和2年1月22日(水)(必着)

(2) 申請先

〒630-8528 奈良市高畑町 奈良教育大学 入試課
電話：0742-27-9126

※ 申請書類を郵送する場合は、封筒表面に「大学入学資格審査申請書類在中」と朱書きするとともに、簡易書留郵便とすること。

(3) 申請書類 (①～⑤の全てを揃えて提出してください。)

① 入学資格審査申請書様式

窓口、本学ホームページ (<https://www.nara-edu.ac.jp/>) 及び郵送にて配付します。郵送による配付を希望する方は、表に「入学資格(一般入試)審査申請書請求」と朱書きした封筒に、返信用封筒(82円切手を貼り、申請者の郵便番号、住所、氏名を明記した長形3号定形郵便封筒)を入れて、入試課まで送付してください。

② 当該学校の教育課程が高等学校の教育課程と同等であることが証明できる書類(学則など)

③ 当該学校の教育内容等が証明できる書類(カリキュラム表、授業時間数一覧など)

④ 卒業証明書又は卒業見込証明書

⑤ 申請者の郵便番号、住所、氏名を明記した返信用封筒(長形3号定形郵便封筒に392円切手を貼付した

もの)

(4) 審査基準

申請者の当該学校の教育課程等(修業年限、年間及び週当たりの授業時間数、履修する主要教科・科目及び卒業までに必要な単位数等)が高等学校学習指導要領に準じているかを調査し、高等学校と同等以上であるかを審査します。

(5) 審査結果の通知

審査の結果は、申請者宛に郵送により通知します。資格を認められた者には、「奈良教育大学入学資格認定書」を同封します。

資格認定を受けた者は、出願時に「奈良教育大学入学資格認定書」の写しを添付してください。

2. 選抜方法

- (1) 大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績、調査書等の内容を総合して選抜します。
- (2) 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目・配点及び個別学力検査等の教科・科目・配点は、**10～18 ページの別表 1**を参照してください。
また、実技検査等の内容・評価の観点は、**19～20 ページの別表 2**を、小論文の内容・評価の観点は、**21 ページの別表 3**を、面接の内容・評価の観点は、**21 ページの別表 4**を参照してください。
- (3) 入学手続締切後、入学者が定員に満たない場合は、追加合格により欠員補充を行います。それでもなお欠員がある場合は、欠員補充第2次募集を行います。

3. 個別学力検査の日程

前期日程 令和2年2月25日(火)

後期日程 令和2年3月12日(木)

4. 出願方法

出願期間中に開設するインターネット出願サイトにて出願登録し、調査書・写真票等必要書類を郵送してください。保健体育専修志願者は、スポーツ・運動歴調書も提出してください。

VI. アドミッション・オフィス入試

1. 選抜方法等

- (1) 将来、奈良県下の学校教員になることを希望する者に対し、第1次選考(教育学部共通選考及び専修別選考)及び第2次選考(大学入試センター試験)の結果を総合して選抜します。詳細は、**22～23 ページの別表 5-1**のとおりです。
- (2) 第1次選考(専修別選考)における理解力・表現力試験等については、**24～25 ページの別表 5-2**のとおりです。
- (3) 第2次選考(大学入試センター試験)については、**26～28 ページの別表 5-3**のとおりです。
- (4) 保健体育専修志願者は、スポーツ・運動歴調書を出願時に提出してください。
- (5) 第1次選考(専修別選考)において実技を課す専修を志願する場合、受験時に持ち物が必要となります。

2. アドミッション・オフィス入試の日程

第1次選考 (教育学部共通選考、専修別選考) 令和元年10月26日(土)及び10月27日(日)

第2次選考 (大学入試センター試験) 令和2年1月18日(土)及び1月19日(日)

VII. 帰国生徒特別入試

- (1) 海外に在住し、又は在留していた日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で外国の学校等で教育を受けた者に対し、一般の入学者選抜方法とは別に特別入試を実施します。
- (2) 大学入試センター試験を免除し、出願書類(自己推薦書、成績証明書(調査書)等)、小論文及び面接等の結果を総合して選抜します。
- (3) 試験期日 令和元年11月9日(土)
- (4) 募集人員、出願要件、選抜方法、出願期間等は **29 ページの別表 6**のとおりです。

Ⅷ. 私費外国人留学生特別入試

- (1) 国際理解・国際協調の観点から、本学においては国際交流の推進に積極的に取り組み、諸外国において活躍しうる有能な人材を養成することを目的として、日本国籍を有しない者に対し一般の入学者選抜方法とは別に特別入試を実施します。
- (2) 大学入試センター試験を免除し、日本留学試験の成績と、本学で実施する試験の成績及び面接等の結果を総合して選抜します。
- (3) **試験期日 令和元年 11 月 9 日(土)**
- (4) 募集人員、出願要件、選抜方法、出願期間等は **30 ページの別表 7** のとおりです。

Ⅸ. 障害を有する入学志願者との事前相談

本学を受験する障害を有する入学志願者で、受験上の特別な措置を必要とする者又は修学上の特別な配慮を必要とする場合は、本学に申し出て必ず事前に相談してください。

1. 相談の期日

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| (1) アドミッション・オフィス入試への出願者 | 令和元年 9 月 13 日(金)まで |
| (2) 帰国生徒特別入試への出願者 | 令和元年 9 月 13 日(金)まで |
| (3) 私費外国人留学生特別入試への出願者 | 令和元年 9 月 13 日(金)まで |
| (4) 個別学力検査等への出願者 | 令和 2 年 1 月 22 日(水)まで |

2. 相談の方法

次の事項を記載した相談書類(様式任意)に医師の診断書を添付して提出してください。

- (1) 氏名及び出身学校名
- (2) 障害の種類、程度
- (3) 志望予定専修名
- (4) 受験上の特別な措置を希望する事項
- (5) 修学上の特別な配慮を希望する事項
- (6) 出身学校でとられていた特別措置等の事項
- (7) 日常生活の状況
- (8) 連絡先(住所、電話番号等)

3. 提出先

〒630-8528 奈良市高畑町 奈良教育大学 入試課

X. 学生募集要項の請求方法等

〔募集要項の種別と発表予定時期〕

募集要項の種別	発表予定時期
アドミッション・オフィス入試	令和元年 7 月下旬
帰国生徒特別入試	令和元年 7 月下旬
私費外国人留学生特別入試	令和元年 7 月下旬
(参考)一般入試 (ダウンロードにより入手)	令和元年 11 月上旬 (ホームページでのみ公開)


学生募集要項(出願の詳細、出願書類等を含む要項)の請求方法は次のとおりです。

1. 【テレメール】大学のホームページから請求する場合

奈良教育大学のホームページに掲載のテレメールにより、直接請求できます。詳しくは本学ホームページ(<https://www.nara-edu.ac.jp/admissions/>)をご覧ください。

2. 【テレメール】インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）又は自動音声応答電話で請求する場合

(1) 下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。

インターネットの場合 (パソコン・スマートフォン・携帯電話)	https://telemail.jp	スマートフォン・携帯電話で、 バーコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。 
自動音声応答電話の場合	I P電話 050-8601-0101 (24 時間受付) ※一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも 3 分毎に約 12 円です。	

(2) 請求を希望する資料請求番号（6 桁）を入力してください。

資料名	資料請求番号	発送開始日
大学案内+アドミッション・オフィス入試学生募集要項	585662	令和元年 7 月下旬
アドミッション・オフィス入試学生募集要項	545762	令和元年 7 月下旬
大学案内+帰国生徒特別入試学生募集要項	545772	令和元年 7 月下旬
帰国生徒特別入試学生募集要項	545782	令和元年 7 月下旬
大学案内+私費外国人留学生募集要項	545792	令和元年 7 月下旬
私費外国人留学生募集要項	565682	令和元年 7 月下旬

※ 一般入試はインターネット出願により募集するため、一般入試募集要項は本学ホームページからダウンロードして入手してください。

※ 請求にあたっての料金については、テレメールサイト (<https://telemail.jp>) で資料請求番号を入力のうち、ご確認ください。

(3) あとはガイダンスに従って登録してください。

<p>(1) (2) に関する注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。その際は、発送開始日のおおむね 3~4 日後に資料が届きます。 ・ 発送開始日以降に請求された資料は、おおむね 3~4 日後に届きます。ただし、受付日時や地域、配達事情によっては、1 週間程度かかる場合もあります。なお、17 時 30 分までの受付は当日発送、17 時 30 分以降の受付は翌日発送となります。また発送開始日に変更になる可能性もあります。なお、10 日以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターへお問い合わせください。 ・ 料金はお届けする資料に同封の支払方法に従い、資料到着後 2 週間以内に表示料金をお支払いください。支払方法は「郵便局・ゆうちょ銀行での払込み」「コンビニ支払い」「ケータイ払い（携帯電話通話料金と一緒にのお支払い）」「クレジットカード払い」がご利用になれます。なお、支払いに際して手数料が別途必要になります。コンビニ払いは 86 円。ケータイ払いは 50 円。クレジットカード払いは 50 円。ゆうちょ銀行・郵便局の ATM は 150 円、窓口は 200 円。コンビニ払いは消費税 10% 時は 88 円へ変更予定。）また、ケータイ払い、クレジットカード払い、コンビニ支払いは、1 回分の手数料で、複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。料金は資料の重量変更により変更になる場合がありますので、予めご了承ください。 ・ 自動音声応答電話によるご請求の場合、住所・名前の録音時は、ゆっくりはっきりとお話してください。録音された音声の不鮮明な場合は、資料をお届けできないことがあります。 ・ 請求時期によっては資料がなくなり、早期終了する場合がありますので予めご了承ください。
--

2. の請求方法についてのお問い合わせは

テレメールカスタマーセンター

TEL:050-8601-0102(受付時間 9:30~18:00)まで

3. 【モバっちょ】インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）で請求する場合（アドミッション・オフィス入試学生募集要項のみ）

「モバっちょ」

<https://djc-mb.jp/nara-edu3/> にアクセスし、ガイダンスに従ってご請求ください。

「モバっちょ」では、資料請求料金はクレジットカード決済、携帯払いでお支払いいただけます。また、コンビニ後払いを選択することも可能です。

※携帯払いは携帯電話の機種、携帯電話会社との契約状況によってご利用になれない場合があります。



3. の請求方法についてのお問い合わせは

大学情報センター株式会社 モバっちょカスタマーセンター

TEL:050-3540-5005(平日 10:00~18:00) まで

4. 窓口で請求する場合

月曜日から金曜日（ただし祝日等を除く。）の8時30分から17時15分まで、入試課窓口で配付します。

5. 郵送により請求する場合

必要とする募集要項の種類（アドミッション・オフィス入試学生募集要項、帰国生徒特別入試学生募集要項、私費外国人留学生特別入試学生募集要項）を入試課宛の封筒の表に朱書きし、返信用封筒〔角形2号（縦33.2cm×横24cm）定形外郵便封筒〕に郵便番号、住所、氏名を明記し、送料分の切手を同封のうえ、請求してください。請求する募集要項の種別により送料が異なりますので、大学ホームページ（<https://www.nara-edu.ac.jp/admissions/claim1.html>）で確認するか、入試課（TEL：0742-27-9126・E-mail:nyuusi@nara-edu.ac.jp）までお問い合わせください。

なお、返信用封筒のない場合や切手不足の場合は送付できませんので、注意してください。

（請求先）〒630-8528 奈良市高畑町 奈良教育大学 入試課

学部・学科等名及び入学定員等		学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		
			教科	科目名等	
教育学部 255名 前期 156名 後期 59名 アドミッション・オフィス・オフィス 40名	学校教育教員養成課程	教育学専修 15名 前期 9名 後期 3名 アドミッション・オフィス 3名	前期 2月25日	国教	国 必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A から1 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1又は2 現社、倫、政経、倫政経 } 地歴公民から2科目 A 物基、化基、生基、地基 から2 ⇨ A又はB 選択した場合 B 物、化、生、地 から1 地歴公民から1科目 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 ⇨ C又はD 選択した場合 D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 [5教科7科目若しくは8科目] 又は [6教科7科目若しくは8科目]
				後期 3月12日	国教
			前期 2月25日	国教	国 必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A から1 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1又は2 現社、倫、政経、倫政経 } 地歴公民から2科目 A 物基、化基、生基、地基 から2 ⇨ A又はB 選択した場合 B 物、化、生、地 から1 地歴公民から1科目 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 ⇨ C又はD 選択した場合 D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 [5教科7科目若しくは8科目] 又は [6教科7科目若しくは8科目]
				後期 3月12日	国教
			前期 2月25日	国教	国 必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A から1 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1又は2 現社、倫、政経、倫政経 } 地歴公民から2科目 A 物基、化基、生基、地基 から2 ⇨ A又はB 選択した場合 B 物、化、生、地 から1 地歴公民から1科目 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 ⇨ C又はD 選択した場合 D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 [5教科7科目若しくは8科目] 又は [6教科7科目若しくは8科目]
				後期 3月12日	国教
		前期 2月25日	国教	国 必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A から1 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1又は2 現社、倫、政経、倫政経 } 地歴公民から2科目 A 物基、化基、生基、地基 から2 ⇨ A又はB 選択した場合 B 物、化、生、地 から1 地歴公民から1科目 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 ⇨ C又はD 選択した場合 D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 [5教科7科目若しくは8科目] 又は [6教科7科目若しくは8科目]	
			後期 3月12日	国教	国 必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A から1 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1 現社、倫、政経、倫政経 } A 物基、化基、生基、地基 から2 A又はB B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 [5教科5科目若しくは6科目]
		前期 2月25日	国教	国 必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A から1 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1又は2 現社、倫、政経、倫政経 } 地歴公民から2科目 A 物基、化基、生基、地基 から2 ⇨ A又はB 選択した場合 B 物、化、生、地 から1 地歴公民から1科目 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 ⇨ C又はD 選択した場合 D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 [5教科7科目若しくは8科目] 又は [6教科7科目若しくは8科目]	
			後期 3月12日	国教	国 必須 数Ⅰ、数Ⅰ・数A から1 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 から1 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B から1 現社、倫、政経、倫政経 } A 物基、化基、生基、地基 から2 A又はB B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 [5教科5科目若しくは6科目]

選抜の実施教科・科目等について

(1/4)

個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											その他の 選抜方法 等	
教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技	小論文	面接	配点		合計
その他	小論文	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200					900	アドミッ ション・ オフィス 帰国生徒 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査								300			300	
		計	200	※300	※300	200	※300	200			300		1,200	
その他	面接	センター試験	100	※※100	※※100	100	100	100					500	
		個別学力検査									300		300	
		計	100	※※100	※※100	100	100	100			300		800	
その他	小論文	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200					900	
		個別学力検査								300			300	
		計	200	※300	※300	200	※300	200			300		1,200	
その他	小論文	センター試験	100	※※100	※※100	100	100	100					500	
		個別学力検査								300			300	
		計	100	※※100	※※100	100	100	100			300		800	
その他	小論文	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200					900	
		個別学力検査								300			300	
		計	200	※300	※300	200	※300	200			300		1,200	
その他	面接	センター試験	100	※※100	※※100	100	100	100					500	
		個別学力検査									300		300	
		計	100	※※100	※※100	100	100	100			300		800	
その他	小論文	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200					900	
		個別学力検査								300			300	
		計	200	※300	※300	200	※300	200			300		1,200	
その他	小論文	センター試験	100	※※100	※※100	100	100	100					500	
		個別学力検査								300			300	
		計	100	※※100	※※100	100	100	100			300		800	

学部・学科等名及び入学定員等		学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		
			教科	科目名等	
教育学部 255名 前期 156名 後期 59名 アドミッション・オフィス 40名	学校 教育 教員 養成 課程	国語教育専修 25名 初等教育履修分野 13名 中等教育履修分野 12名 前期 初等教育履修分野 9名 中等教育履修分野 8名 後期 初等教育履修分野 2名 中等教育履修分野 2名 アドミッション・オフィス 初等教育履修分野 2名 中等教育履修分野 2名	前期 2月25日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 } から1又は2 地歴公民から2科目 A 物基、化基、生基、地基 から2 } ⇨ A又はB 選択した場合 B 物、化、生、地 から1 地歴公民から1科目 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 } ⇨ C又はD 選択した場合 D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 [5教科7科目若しくは8科目] 又は [6教科7科目若しくは8科目]
			後期 3月12日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 } から1 A 物基、化基、生基、地基 から2 } A又はB B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 [5教科5科目若しくは6科目]
			前期 2月25日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 } から2 A 物基、化基、生基、地基 から2 } A又はB B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 [5教科7科目若しくは8科目] 又は [6教科7科目若しくは8科目]
			後期 3月12日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 } から2 A 物基、化基、生基、地基 から2 } A又はB B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 [5教科6科目若しくは7科目] 又は [6教科6科目若しくは7科目]
			前期 2月25日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 } から1又は2 地歴公民から2科目 A 物基、化基、生基、地基 から2 } ⇨ A又はB 選択した場合 B 物、化、生、地 から1 地歴公民から1科目 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 } ⇨ C又はD 選択した場合 D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 [5教科7科目若しくは8科目] 又は [6教科7科目若しくは8科目]
			後期 3月12日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 } から1 A 物基、化基、生基、地基 から2 } A又はB B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 [5教科6科目若しくは7科目]
		前期 2月25日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 } から1又は2 地歴公民から2科目 A 物基、化基、生基、地基 から2 } ⇨ A又はB 選択した場合 B 物、化、生、地 から1 地歴公民から1科目 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 } ⇨ C又はD 選択した場合 D 物、化、生、地 から2 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 [5教科7科目若しくは8科目] 又は [6教科7科目若しくは8科目]	
		後期 3月12日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 } から1 A 物基、化基、生基、地基 から2 } A又はB B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 [5教科6科目若しくは7科目]	
		前期 2月25日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 } から1 A 物基、化基、生基、地基 から2 } A又はB B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 [5教科6科目若しくは7科目]	
		後期 3月12日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 } から1 A 物基、化基、生基、地基 から2 } A又はB B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 [5教科6科目若しくは7科目]	
		後期 3月12日	国数 地歴 公民理 外	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経 } から1 A 物基、化基、生基、地基 から2 } A又はB B 物、化、生、地 から1 英・英リ、独、仏、中、韓 から1 [5教科6科目若しくは7科目]	

選抜の実施教科・科目等について

(2/4)

個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											その他の 選抜方法 等
教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技	小論文	面接	配合 点計	
国語	国語総合、 現代文B、 古典B	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200				900	アドミッ ション・ オフィス 外国人
		個別学力検査	300									300	
		計	500	※300	※300	200	※300	200				1,200	
その他	小論文	センター試験	200	※※100	※※100	100	100	100				600	追加合格 欠員補充
		個別学力検査								300		300	
		計	200	※※100	※※100	100	100	100		300		900	
その他	小論文	センター試験	200	○200	○200	200	100	200				900	アドミッ ション・ オフィス 外国人
		個別学力検査								300		300	
		計	200	○200	○200	200	100	200		300		1,200	
その他	小論文	センター試験	100	○200	○200	100	100	100				600	追加合格 欠員補充
		個別学力検査								300		300	
		計	100	○200	○200	100	100	100		300		900	
数学	数学Ⅰ、 数学Ⅱ、 数学Ⅲ、 数学A、 数学B (ベクトル、 数列)	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200				900	アドミッ ション・ オフィス 外国人
		個別学力検査				300						300	
		計	200	※300	※300	500	※300	200				1,200	
その他	面接	センター試験	100	※※100	※※100	200	100	100				600	追加合格 欠員補充
		個別学力検査								300		300	
		計	100	※※100	※※100	200	100	100		300		900	
理科	「物理基礎・ 物理」、「化学基礎・ 化学」、「生物基礎・ 生物」、「地学基礎・ 地学」 から1★	センター試験	200	※※100	※※100	200	200	200				900	アドミッ ション・ オフィス 帰国生徒 外国人
		個別学力検査					300					300	
		計	200	※※100	※※100	200	500	200				1,200	
理科	「物理基礎・ 物理」、「化学基礎・ 化学」、「生物基礎・ 生物」、「地学基礎・ 地学」 から1★	センター試験	200	※※100	※※100	200	200	200				900	追加合格 欠員補充
		個別学力検査					400					400	
		計	200	※※100	※※100	200	600	200				1,300	

学部・学科等名及び入学定員等		学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		
			教科	科目名等	
教育学部 255名 前期 156名 後期 59名 アドミッション・オフィス 40名	音楽教育専修 18名 初等教育履修分野 14名 中等教育履修分野 4名 前期 初等教育履修分野 8名 中等教育履修分野 3名 後期 初等教育履修分野 4名 中等教育履修分野 1名 アドミッション・オフィス 初等教育履修分野 2名	前期 2月25日	国教	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経	必須 から1 から1 から1又は2
			地歴公民理	地歴公民から2科目 選択した場合 地歴公民から1科目 選択した場合	A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 D 物、化、生、地 から2
		外		英・英リ、独、仏、中、韓	から1
				[5教科7科目若しくは8科目] 又は [6教科7科目若しくは8科目]	
		後期 3月12日	国教	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経	必須 から1 から1 から1
			地歴公民理	A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1	A又はB
		外		英・英リ、独、仏、中、韓	から1
			[5教科5科目若しくは6科目]		
		前期 2月25日	国教	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経	必須 から1 から1 から1又は2
			地歴公民理	地歴公民から2科目 選択した場合 地歴公民から1科目 選択した場合	A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 D 物、化、生、地 から2
		外		英・英リ、独、仏、中、韓	から1
			[5教科7科目若しくは8科目] 又は [6教科7科目若しくは8科目]		
後期 3月12日	国教	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経	必須 から1 から1 から1		
	地歴公民理	A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1	A又はB		
外		英・英リ、独、仏、中、韓	から1		
	[5教科5科目若しくは6科目]				
前期 2月25日	国教	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経	必須 から1 から1 から1又は2		
	地歴公民理	地歴公民から2科目 選択した場合 地歴公民から1科目 選択した場合	A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 D 物、化、生、地 から2	⇨A又はB ⇨C又はD	
外		英・英リ、独、仏、中、韓	から1		
	[5教科7科目若しくは8科目] 又は [6教科7科目若しくは8科目]				
後期 3月12日	国教	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経	必須 から1 から1 から1		
	地歴公民理	A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1	A又はB		
外		英・英リ、独、仏、中、韓	から1		
	[5教科5科目若しくは6科目]				
前期 2月25日	国教	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経	必須 から1 から1 から1又は2		
	地歴公民理	地歴公民から2科目 選択した場合 地歴公民から1科目 選択した場合	A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 D 物、化、生、地 から2	⇨A又はB ⇨C又はD	
外		英・英リ、独、仏、中、韓	から1		
	[5教科7科目若しくは8科目] 又は [6教科7科目若しくは8科目]				
後期 3月12日	国教	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経	必須 から1 から1 から1		
	地歴公民理	A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1	A又はB		
外		英・英リ、独、仏、中、韓	から1		
	[5教科5科目若しくは6科目]				
前期 2月25日	国教	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経	必須 から1 から1 から1又は2		
	地歴公民理	地歴公民から2科目 選択した場合 地歴公民から1科目 選択した場合	A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1 C 物基、化基、生基、地基 から2 及び 物、化、生、地 から1 D 物、化、生、地 から2	⇨A又はB ⇨C又はD	
外		英・英リ、独、仏、中、韓	から1		
	[5教科7科目若しくは8科目] 又は [6教科7科目若しくは8科目]				
後期 3月12日	国教	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫政経	必須 から1 から1 から1		
	地歴公民理	A 物基、化基、生基、地基 から2 B 物、化、生、地 から1	A又はB		
外		英・英リ、独、仏、中、韓	から1		
	[5教科5科目若しくは6科目]				

選抜の実施教科・科目等について

(3/4)

個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											その他の 選抜方法 等
教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技	小論文	面接	配合 点計	
その他	実技検査 (音楽実技) 楽典	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200				900	アドミッ ション・ オフィス 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査							●450			450	
		計	200	※300	※300	200	※300	200	450			1,350	
その他	実技検査 (音楽実技) 楽典	センター試験	100	※※100	※※100	100	100	100				500	アドミッ ション・ オフィス 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査							●500			500	
		計	100	※※100	※※100	100	100	100	500			1,000	
その他	実技検査 (美術実技)	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200				900	アドミッ ション・ オフィス 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査							△450			450	
		計	200	※300	※300	200	※300	200	450			1,350	
その他	実技検査 (美術実技)	センター試験	100	※※100	※※100	100	100	100				500	アドミッ ション・ オフィス 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査							△500			500	
		計	100	※※100	※※100	100	100	100	500			1,000	
その他	実技検査 (体育実技)	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200				900	アドミッ ション・ オフィス 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査							450			450	
		計	200	※300	※300	200	※300	200	450			1,350	
その他	実技検査 (体育実技)	センター試験	100	※※100	※※100	100	100	100				500	アドミッ ション・ オフィス 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査							500			500	
		計	100	※※100	※※100	100	100	100	500			1,000	
その他	小論文	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200				900	アドミッ ション・ オフィス 外国人 追加合格 欠員補充
		個別学力検査								300		300	
		計	200	※300	※300	200	※300	200		300		1,200	
その他	面接	センター試験	100	※※100	※※100	100	100	100				500	追加合格 欠員補充
		個別学力検査									300	300	
		計	100	※※100	※※100	100	100	100			300	800	

選抜の実施教科・科目等について

(4 / 4)

個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											その他の 選抜方法 等
教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技	小論文	面接	配 合 点 計	
その他	小論文	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200				900	アドミ ッ シ ョ ン ・ オ フ ィ ス 外 国 人
		個別学力検査								300		300	
		計	200	※300	※300	200	※300	200			300	1,200	
その他	面接	センター試験	100	※※100	※※100	100	100	100				500	追加合格 欠員補充
		個別学力検査								300		300	
		計	100	※※100	※※100	100	100	100			300	800	
英語	コミュニケーション 英語基礎 コミュニケーション 英語Ⅰ コミュニケーション 英語Ⅱ コミュニケーション 英語Ⅲ 英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200				900	アドミ ッ シ ョ ン ・ オ フ ィ ス 帰 国 生 徒 外 国 人
		個別学力検査						300				300	
		計	200	※300	※300	200	※300	500				1,200	
英語	英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ	センター試験	100	※※100	※※100	100	100	200				600	追加合格 欠員補充
		個別学力検査						300				300	
		計	100	※※100	※※100	100	100	500				900	
その他	実技検査 (書道実技)	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200				900	アドミ ッ シ ョ ン ・ オ フ ィ ス 外 国 人
		個別学力検査							450			450	
		計	200	※300	※300	200	※300	200	450			1,350	
その他	実技検査 (書道実技)	センター試験	200	◎100	◎100	100 ◎100	◎100	100				500	追加合格 欠員補充
		個別学力検査							500			500	
		計	200	◎100	◎100	100 ◎100	◎100	100	500			1,000	
その他	小論文 (選択問 題として 造形表現 を含む)	センター試験	200	※300	※300	200	※300	200				900	アドミ ッ シ ョ ン ・ オ フ ィ ス 外 国 人
		個別学力検査							450			450	
		計	200	※300	※300	200	※300	200	450			1,350	
その他	小論文 (選択問 題として 造形表現 を含む)	センター試験	100	※※100	※※100	100	100	100				500	追加合格 欠員補充
		個別学力検査							500			500	
		計	100	※※100	※※100	100	100	100	500			1,000	

別表 1 における留意事項

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- 複数の教科・科目から選択となっている場合で、複数の教科・科目を受験した場合は、地理歴史、公民及び理科（基礎を付していない科目2科目）については第1解答科目の成績を、数学については高得点の科目の成績を用います。ただし、理科について、基礎を付した科目（2科目合計）及び基礎を付していない科目1科目を受験している場合はどちらか高得点の科目を用います。
- 外国語のうち「英語」を選択した者については、リスニングテストの成績も用います。
まず、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を200点満点に換算し、更にそれを各専修で定めた配点に換算するものとします。
なお、大学入試センターリスニングテスト免除者については、筆記試験200点満点を各専修で定めた配点に換算するものとします。
- 理科において、基礎を付した科目から2科目、基礎を付していない科目から1科目選択する場合、同一名称を含む科目を選択しても構いません。 下記の例のような選択が可能です。

例：基礎を付した科目→物理基礎、化学基礎
基礎を付していない科目→化学

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

- ※は、選択教科を示し、地理歴史、公民及び理科を合わせて4科目以上受験した場合は、次のとおり成績を用います。

受験パターン			成績利用方法
I	地理歴史 公民	2科目	地理歴史、公民の第1解答科目及び次の①かつ② ①理科の基礎を付した科目（2科目合計）と基礎を付していない科目のうち高得点の科目 ②地理歴史、公民の第2解答科目と上記①以外の科目のうち高得点の科目
	理科	基礎を付した科目（2科目合計）及び基礎を付していない科目（1科目）	
II	地理歴史 公民	2科目	地理歴史、公民の第1解答科目及び次の①かつ② ①理科の基礎を付していない科目の第1解答科目 ②地理歴史、公民と理科の基礎を付していない科目の第2解答科目のうち高得点の科目
	理科	基礎を付していない科目2科目	

- ※※は、選択教科を示し、地理歴史、公民の第1解答科目の成績を用います。
- は選択教科を示し、地理歴史、公民から2科目の成績を用います。
- ◎は地理歴史、公民の第1解答科目、理科の基礎を付した科目（2科目合計）、理科の基礎を付していない科目の第1解答科目、数学（数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報）から高得点の成績を用います。
- ★については、出願登録の際に受験科目を選択します。試験当日は、選択した科目しか解答できません。
- の配点内訳は、前期「音楽実技 350点、楽典 100点」、後期「音楽実技 400点、楽典 100点」とします。
- △の配点内訳は、実技検査のうち、紙による立体製作を実技検査点数全体の1/3、静物写生を実技検査点数全体の2/3とします。
- 数学教育専修（前期日程）における個別学力検査の出題範囲は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B（ベクトル、数列）です。
- 理科教育専修における個別学力検査の出題範囲は、次のとおりです。
 - ・「物理基礎・物理」は、物理基礎、物理の全範囲から出題します。
 - ・「化学基礎・化学」は、化学基礎、化学の全範囲から出題します。
 - ・「生物基礎・生物」は、生物基礎、生物の全範囲から出題します。
 - ・「地学基礎・地学」は、地学基礎、地学の全範囲から出題します。

実技検査等の内容・評価の観点（前期日程・後期日程共通）

専攻・専修	内容・評価の観点								
音楽教育専修	<p>【検査内容】 以下の課題により、音楽的能力、理解力及び表現力をみます。</p> <table border="1" data-bbox="300 215 1409 674"> <tr> <td data-bbox="300 215 352 264">共通 種目</td> <td data-bbox="352 215 1409 264">1. 楽典(和声・楽式を除く) 2. 新曲視唱(8小節程度の旋律を階名視唱する。)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="300 264 352 510">選 択 種 目</td> <td data-bbox="352 264 1409 510"> ピアノと声楽 1. 古典派のピアノソナタ、ソナチネのいずれかの楽章 2. 下記の歌曲の中から1曲を選び歌います。 (1) Sebben, crudele Cardara 二短調又はホ短調 (いずれかを選択) (2) Lasciar d'amarti Gasparni へ短調 (3) Sogno Tosti 変ロ長調又は変イ長調 (いずれかを選択) (4) Ich liebe dich Beethoven へ長調又はト長調 (いずれかを選択) (5) An die Musik Schubert ハ長調又は二長調 (いずれかを選択) (6) 浜辺の歌 成田為三 変イ長調又はへ長調 (いずれかを選択) (7) 夏の思い出 中田喜直 へ長調又は変ホ長調 (いずれかを選択) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="300 510 352 589">目</td> <td data-bbox="352 510 1409 589"> B 管楽器とピアノ 1. 管楽器は任意の楽曲又は練習曲(1曲) 2. 古典派のピアノソナタ、ソナチネのいずれかの楽章 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="300 589 352 674">目</td> <td data-bbox="352 589 1409 674"> C 邦楽器とピアノ 1. 邦楽器(箏又は三味線)の任意の楽曲(1曲) 2. 古典派のピアノソナタ、ソナチネのいずれかの楽章 </td> </tr> </table> <p>【評価の観点】 ピアノ、声楽・管楽器、新曲視唱、楽典の検査により、音楽科を担当する教師としての資質、音楽的表現力、音楽の知識について評価します。</p> <p>【持ち物】 選択種目Bを選択する者は音楽実技種目記入票に記入した楽器を、Cを選択する者は邦楽器を各自持参してください。</p> <p>【備考】 (1) 共通種目2.については、主和音、開始音のみ与えます。 (2) 選択種目はA・B・Cのうち、いずれか1つを選択してください。声楽曲は、調性を選んで記入してください。なお、出願後の変更は認めません。 (3) 選択種目はすべて暗譜で演奏してください。 (4) ピアノ、声楽及び管楽器の楽曲は、繰り返しを行わないこととします。 (5) 管楽器、邦楽器については、リハーサル室を設けますが、ピアノと声楽については、リハーサル室はありません。ただし、決められた教室で発声練習はできます。 (6) 選択種目Bの管楽器は、吹奏楽で使用される管楽器に限ります。 (7) 選択種目は入学後の専門領域を意味するものではありません。 </p>	共通 種目	1. 楽典(和声・楽式を除く) 2. 新曲視唱(8小節程度の旋律を階名視唱する。)	選 択 種 目	ピアノと声楽 1. 古典派のピアノソナタ、ソナチネのいずれかの楽章 2. 下記の歌曲の中から1曲を選び歌います。 (1) Sebben, crudele Cardara 二短調又はホ短調 (いずれかを選択) (2) Lasciar d'amarti Gasparni へ短調 (3) Sogno Tosti 変ロ長調又は変イ長調 (いずれかを選択) (4) Ich liebe dich Beethoven へ長調又はト長調 (いずれかを選択) (5) An die Musik Schubert ハ長調又は二長調 (いずれかを選択) (6) 浜辺の歌 成田為三 変イ長調又はへ長調 (いずれかを選択) (7) 夏の思い出 中田喜直 へ長調又は変ホ長調 (いずれかを選択)	目	B 管楽器とピアノ 1. 管楽器は任意の楽曲又は練習曲(1曲) 2. 古典派のピアノソナタ、ソナチネのいずれかの楽章	目	C 邦楽器とピアノ 1. 邦楽器(箏又は三味線)の任意の楽曲(1曲) 2. 古典派のピアノソナタ、ソナチネのいずれかの楽章
	共通 種目	1. 楽典(和声・楽式を除く) 2. 新曲視唱(8小節程度の旋律を階名視唱する。)							
選 択 種 目	ピアノと声楽 1. 古典派のピアノソナタ、ソナチネのいずれかの楽章 2. 下記の歌曲の中から1曲を選び歌います。 (1) Sebben, crudele Cardara 二短調又はホ短調 (いずれかを選択) (2) Lasciar d'amarti Gasparni へ短調 (3) Sogno Tosti 変ロ長調又は変イ長調 (いずれかを選択) (4) Ich liebe dich Beethoven へ長調又はト長調 (いずれかを選択) (5) An die Musik Schubert ハ長調又は二長調 (いずれかを選択) (6) 浜辺の歌 成田為三 変イ長調又はへ長調 (いずれかを選択) (7) 夏の思い出 中田喜直 へ長調又は変ホ長調 (いずれかを選択)								
目	B 管楽器とピアノ 1. 管楽器は任意の楽曲又は練習曲(1曲) 2. 古典派のピアノソナタ、ソナチネのいずれかの楽章								
目	C 邦楽器とピアノ 1. 邦楽器(箏又は三味線)の任意の楽曲(1曲) 2. 古典派のピアノソナタ、ソナチネのいずれかの楽章								
美術教育専修	<p>【検査内容】 以下の2課題を行います。</p> <table border="1" data-bbox="300 1086 1409 1361"> <tr> <td data-bbox="300 1086 1409 1238">1. 紙による立体製作 1課題 1時間 < B 3判の両面色違いの造形紙(厚口5枚組) > と < B 4判の両面色違いの造形紙(薄口5枚組) > を使い、「優勝記念のトロフィー」「不思議な海賊船」「四本の足で立つ想像上の動物」「丈夫な塔」「恐ろしい花」「生き物の巣」「未来の建築」「怒りの仮面」などといった図画工作・美術の授業でも扱われるようなテーマで立体を作ります。 ※当日はテーマを一つ指定しますが、上記のテーマはあくまで例示であり、実際には上記以外からも出題されます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="300 1238 1409 1361">2. 静物写生(着彩) 1課題 2時間 身近にある3つ程度のモチーフ【プラスチック容器、コップ、金属の缶、ハケ、布テープ、電球、スプレー型容器、マスク、箱型容器(洗剤)、タオル、ボックスティッシュ、軍手、食品用ラップなど】を机の上に自由に組み合わせておき、A 3判画用紙に描きます。 ※上記のモチーフはあくまで例示であり、実際には上記以外からも出題されます。</td> </tr> </table> <p>【検査時間・配当時間】 上記の配当時間は、おおよその目安ですので、合計3時間の中で自分の計画にあわせて変えてかまいません。またこの合計3時間のほかに、「説明及び準備時間」をとります。</p> <p>【評価の観点】 1. 紙による立体製作課題について 発想・構想に工夫は見られるか、紙の特徴を生かしたつくり方(山折り、谷折り、じゃばら折りなど図画工作・美術の授業で用いる技法)をしているかなどを総合的にみます。 2. 静物写生(着彩)について 形、材質感を捉えて表現できたか、色や画面構成は良いかなどを総合的にみます。 1、2の課題を通じて、図画工作や美術の授業で、子どもたちに創造活動の楽しさを味わわせることができる基盤となる資質・能力が備わっているのかをみます。 </p> <p>【持ち物】 はさみ、カッターナイフ、鉛筆、消しゴム、水彩絵の具一式(アクリル系絵の具は不可)、パレット、筆、水入れ、雑巾を持参してください。その他の用具は持参してはいけません。 なお、立体製作の造形紙、カッターマット、定規、のり、セロハンテープ、ホッチキス、仮とめ用クリップ、静物写生の紙、画板、イーゼル(画架)は、大学で用意するので不要です。</p>	1. 紙による立体製作 1課題 1時間 < B 3判の両面色違いの造形紙(厚口5枚組) > と < B 4判の両面色違いの造形紙(薄口5枚組) > を使い、「優勝記念のトロフィー」「不思議な海賊船」「四本の足で立つ想像上の動物」「丈夫な塔」「恐ろしい花」「生き物の巣」「未来の建築」「怒りの仮面」などといった図画工作・美術の授業でも扱われるようなテーマで立体を作ります。 ※当日はテーマを一つ指定しますが、上記のテーマはあくまで例示であり、実際には上記以外からも出題されます。	2. 静物写生(着彩) 1課題 2時間 身近にある3つ程度のモチーフ【プラスチック容器、コップ、金属の缶、ハケ、布テープ、電球、スプレー型容器、マスク、箱型容器(洗剤)、タオル、ボックスティッシュ、軍手、食品用ラップなど】を机の上に自由に組み合わせておき、A 3判画用紙に描きます。 ※上記のモチーフはあくまで例示であり、実際には上記以外からも出題されます。						
1. 紙による立体製作 1課題 1時間 < B 3判の両面色違いの造形紙(厚口5枚組) > と < B 4判の両面色違いの造形紙(薄口5枚組) > を使い、「優勝記念のトロフィー」「不思議な海賊船」「四本の足で立つ想像上の動物」「丈夫な塔」「恐ろしい花」「生き物の巣」「未来の建築」「怒りの仮面」などといった図画工作・美術の授業でも扱われるようなテーマで立体を作ります。 ※当日はテーマを一つ指定しますが、上記のテーマはあくまで例示であり、実際には上記以外からも出題されます。									
2. 静物写生(着彩) 1課題 2時間 身近にある3つ程度のモチーフ【プラスチック容器、コップ、金属の缶、ハケ、布テープ、電球、スプレー型容器、マスク、箱型容器(洗剤)、タオル、ボックスティッシュ、軍手、食品用ラップなど】を机の上に自由に組み合わせておき、A 3判画用紙に描きます。 ※上記のモチーフはあくまで例示であり、実際には上記以外からも出題されます。									
保健体育専修	<p>【検査内容】 以下の3領域において、5種目の検査を行います。 1. 陸上運動(50m走及びハンドボール投げ) 2. 器械運動(鉄棒運動及びマット運動) 3. ボール運動(ドッチボールを使った運動)</p> <p>【評価の観点】 上記の課題によって、基本的な運動能力を総合的に評価します。</p> <p>【持ち物】 運動靴(屋内用と屋外用の2足)・運動服を持参してください。</p> <p>【備考】 (1) スパイクシューズの使用は認めません。 (2) 着替えやウォーミングアップについては、集合時に指示します。 (3) 雨天時には、上記の実技内容が一部変更されることがあります。 </p>								

実技検査等の内容・評価の観点（前期日程・後期日程共通）

伝統文化教育専攻	書道教育専修	<p>【検査内容】 以下の課題により、高校『書道Ⅰ』、『書道Ⅱ』教科書に掲載されている古典程度の基礎的な書道の表現能力をみます。</p> <p>1. 臨書 漢字(楷書・行書)、仮名。いずれも半紙使用 2. 創作 半紙使用(漢字及び仮名の課題を指定するので、いずれかを選択して創作してください。)</p> <p>【評価の観点】 1の課題について 課題となっている古典の特徴を捉え、点画の用筆表現ができているか、指定された文言が半紙にバランスよく収めることができているかをみます。 2の課題について 漢字、仮名ともに、基本点画の用筆法ができているか、文字構造がしっかり形どられているかをみます。 1、2の課題を総合的に採点し評価します。</p> <p>【持ち物】 太筆(半紙6字書き程度)、仮名用細筆、墨(墨汁も可)、硯、文鎮、練習用半紙、下敷(半紙用)を持参してください。</p>
----------	--------	---

別表 3

小論文の内容・評価の観点

専攻・専修		区分	内容・評価の観点
教育発達専攻	教育学専修	前期日程	教育と発達に関する諸問題について、問題意識、記述の論理性と説得性、文章表現力などを総合的に評価します。 (専攻共通問題1問、各専修からの問題1問、計2問出題します。)
	心理学専修	前期日程	教育と発達に関する諸問題について、問題意識、記述の論理性と説得性、文章表現力などを総合的に評価します。 (専攻共通問題1問、各専修からの問題1問、計2問出題します。)
		後期日程	教育と発達に関する諸問題について、問題意識、記述の論理性と説得性、文章表現力などを総合的に評価します。
	幼年教育専修	前期日程	教育と発達に関する諸問題について、問題意識、記述の論理性と説得性、文章表現力などを総合的に評価します。 (専攻共通問題1問、各専修からの問題1問、計2問出題します。)
	特別支援教育専修	前期日程	教育と発達に関する諸問題について、問題意識、記述の論理性と説得性、文章表現力などを総合的に評価します。 (専攻共通問題1問、各専修からの問題1問、計2問出題します。)
後期日程		教育と発達に関する諸問題について、問題意識、記述の論理性と説得性、文章表現力などを総合的に評価します。	
教科教育専攻	国語教育専修	後期日程	与えられた課題文を正確に読解し、論理的に自分の考えや意見を述べることができるかどうか、また、日本語の基礎的な知識と表現力を備えているかどうかをみます。
	社会科教育専修	前期日程	現代の社会に関する諸問題についての関心や知識を幅広く持っていることをみるために、人文、社会等の分野から選んだテーマに即して論述解答させます。出題の意図を正確に把握し、論理的に自分の考えや意見を述べるができるかどうかをみます。
		後期日程	現代の家庭生活をとりまく諸問題について、関心や知識を幅広く持っているかをみます。出題の意図を理解し、論理的に自分の考えが述べられているか、文章構成力・表現力があるかなどを総合的に評価します。
	技術教育専修	前期日程	技術、ものづくりに関する考え方、発想などを問う問題を出題し、記述の論理性、発想の豊かさ、文章表現力などを総合的に評価します。
伝統文化教育専攻	文化遺産教育専修	前期日程	まず文化遺産とその教育への活用方法に対する考え方を総合的にみます。さらに、中学校美術免許取得を希望する者に対しては、与えられたモチーフの形体、材質感などを的確に捉えて抽出できたか、また構成は良いかなどに関する造形表現力をみます。中学校理科免許取得を希望する者に対しては、文化遺産に関連する自然科学の理解と認識をみます。 【持ち物】鉛筆・消しゴムを持参してください。
		後期日程	まず文化遺産に関する基礎知識と、対象観察力・文章表現力を総合的にみます。さらに、中学校美術免許取得を希望する者に対しては、与えられたモチーフの形体、材質感などを的確に捉えて抽出できたか、また構成は良いかなどに関する造形表現力をみます。中学校理科免許取得を希望する者に対しては、文化遺産に関連する自然科学の理解と認識をみます。 【持ち物】鉛筆・消しゴムを持参してください。

別表 4

面接の内容・評価の観点

専攻・専修		区分	内容・評価の観点
達教育専攻	教育学専修	後期日程	集団面接の形式で、志望の動機、子どもの発達・教育についての問題意識、教職への意欲などを見て、評価します。
	幼年教育専修	後期日程	集団面接の形式で、志望の動機、子どもの発達・教育(保育)についての問題意識、教職への意欲などを見て、評価します。
教科教育専攻	数学教育専修	後期日程	〔初等教育履修分野〕 個人面接の形式で、本学を志望した動機、入学後の学習計画、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B(ベクトル、数列)に係る基本的な内容、教職への意欲などについて問い、意欲・関心・思考力・表現力などを総合的に評価します。ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。 〔中等教育履修分野〕 個人面接の形式で、本学を志望した動機、入学後の学習計画、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B(ベクトル、数列)に係る基本的な内容、教職への意欲などについて問い、意欲・関心・思考力・表現力などを総合的に評価します。ただし、志願者数により、集団面接となることがあります。
			家庭科教育専修
	技術教育専修	後期日程	個人面接の形式で、本学を志望した動機、教科内容に関する知識、教職への意欲などについて問い、意欲・関心・思考力・表現力などを総合的に評価します。

別表 5 - 1 令和 2 年度 アドミッション・オフィス入試

実施学部	教育学部			
募集人員	専攻・専修・履修分野		募集人員	
	教育発達専攻	教育学専修	3名	
		心理学専修	3名	
		幼年教育専修	2名	
		特別支援教育専修	2名	
	教科教育専攻	国語教育専修	初等教育履修分野	2名
			中等教育履修分野	2名
		社会科教育専修	初等教育履修分野	2名
			中等教育履修分野	2名
		数学教育専修	初等教育履修分野	2名
			中等教育履修分野	2名
		理科教育専修	初等教育履修分野	2名
			中等教育履修分野	2名
		音楽教育専修	初等教育履修分野	2名
		美術教育専修	初等教育履修分野	2名
		保健体育専修	初等教育履修分野	2名
			中等教育履修分野	2名
家庭科教育専修	初等教育履修分野	1名		
技術教育専修	中等教育履修分野	1名		
英語教育専修	中等教育履修分野	2名		
伝統文化教育専攻	書道教育専修	1名		
	文化遺産教育専修	1名		
合 計		40名		
出願要件	将来、奈良県下の学校教員になることを希望する者			
出願資格	<p>次の各号のいずれかに該当する者で、令和 2 年度大学入試センター試験で本学が指定した教科・科目を受験する者</p> <p>(1) 高等学校（特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む）を卒業した者及び令和 2 年 3 月卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む）及び令和 2 年 3 月修了見込みの者（※）</p> <p style="padding-left: 2em;">※高等専門学校の第 3 年次を修了した者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則第 150 条における以下の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者及び令和 2 年 3 月末までにこれに該当する見込みの者</p> <p style="padding-left: 2em;">ア. 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者</p> <p style="padding-left: 2em;">イ. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者</p> <p style="padding-left: 2em;">ウ. 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者</p> <p style="padding-left: 2em;">エ. 文部科学大臣の指定した者（昭和 23 年文部省告示第 47 号）</p> <p style="padding-left: 2em;">オ. 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）</p> <p style="padding-left: 2em;">カ. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 2 年 4 月 1 日までに 18 歳に達する者</p>			

<p>選 抜 方 法</p>	<p>(1) 第1次選考 ア. 実施日時 (※) 令和元年10月26日 (土) 教育学部共通選考 令和元年10月27日 (日) 専修別選考 ※第1次選考の実施時間については「令和2年度教育学部アドミッション・オフィス入試学生募集要項」(令和元年7月下旬)をご参照ください。 イ. 教育学部共通選考 i. 志望理由書等に基づき、「本学への志望理由」「学校教員になりたい理由」「奈良県下の学校教員になって取り組みたいこと」を集団面接の形式で確認した後、学校教育にかかるとのテーマ等を示した上で、集団討論を課す。 ii. A、B、Cの3段階評価とする。 ウ. 専修別選考 i. 専修ごとに理解力・表現力試験等を課す。(詳細については別表5-2参照) ii. 配点は450点とする。 エ. 共通加点枠 i. 配点は30点とする。 ii. 加点項目は下記のとおりとする。 ① 高等学校在学期間中、教育または人間形成に貢献するボランティアに30時間以上従事した場合(高等学校、ボランティア団体等がその旨を証明できる場合に限る) ② 高等学校在学期間中、各地方自治体教育委員会が実施する教員養成にかかるプログラムを30時間以上受講し、修了した場合 ③ 教育学部共通選考でA評価を得た場合 iii. ①又は②に該当する場合の加点は20点(ただし、①及び②の両方に該当する場合の加点は20点を超えないものとする)とし、③に該当する場合の加点は10点とする。 (2) 第2次選考 ア. 実施日時 令和2年1月18日(土)及び1月19日(日) イ. 第1次選考合格者に、資格試験として大学入試センター試験を課す。(詳細については別表5-3参照)</p>
<p>合 格 判 定 の 基 準</p>	<p>(1) 第1次選考 ア. 専修ごとに、専修別選考(配点450点)の得点に共通加点枠(配点30点)の得点を加えた総点の上位者から順番に、第1次選考合格者を決定する。なお、第1次選考合格者は募集人員を超えないものとする。 イ. ア.のうち、専修別選考の得点率が6割未満(270点未満)の場合、第1次選考不合格とする。 ウ. ア.の得点にかかわらず教育学部共通選考の評価がCの場合、第1次選考不合格とする。 (2) 第2次選考 ア. 大学入試センター試験において各専修が指定する科目の合計点が5割5分以上の場合、第2次選考合格とする。 イ. 各専修が指定する科目を受験していなかった場合は不合格とする。 ※第2次選考合格者が募集人員に満たない場合、前期日程の合格発表数にその員数を追加します。</p>
<p>出 願 期 間</p>	<p>令和元年10月1日(火)から令和元年10月7日(月)まで</p>
<p>試 験 期 日</p>	<p>(1) 第1次選考(教育学部共通選考、専修別選考) 令和元年10月26日(土)及び10月27日(日) (2) 第2次選考(大学入試センター試験) 令和2年1月18日(土)及び1月19日(日)</p>
<p>合 格 発 表 日</p>	<p>(1) 第1次選考(教育学部共通選考、専修別選考) 令和元年11月28日(木) (2) 第2次選考(大学入試センター試験) 令和2年2月10日(月)</p>

別表5-2 理解力・表現力試験等の内容、評価の観点、加点対象となる公的な資格等

専攻	専修名	理解力・表現力試験等の内容、評価の観点、加点対象となる公的な資格等
教育 発達 専攻	教育学	教育に関する資料を提示し、そのことについての講義を行い、レポートを課す。そのレポートの内容に基づいて集団面接の形式で質疑応答を行い、教育にかかる理解や関心のほか、学校教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて、教育学専修を志望した理由についても確認する。
	心理学	子どもの発達・教育に関する課題やテーマを与え、その課題やテーマについてのプレゼンテーションを行わせ、その内容に基づいて個人面接の形式で質疑応答を行う。これにより、子どもの発達・教育にかかる理解や関心、課題やテーマを正確に読み取る力のほか、小学校教員としての資質・能力を総合的に評価する。
	幼年教育	幼児教育・保育に関する講義等を行い、その内容に即した課題のレポートを課す。その上で、その課題に基づくプレゼンテーション等を課し、乳幼児や幼児教育・保育に関する関心や理解を中心に、講義等の理解力、課題を解決し表現しようとする意欲や能力等、保育者としての資質・能力を総合的に評価する。
	特別支援教育	人間（障害がある場合を含む）の発達と教育に関する講義を行い、レポートを課した後、レポートの内容に基づいて個人面接の形式で質疑応答を行い（あわせて志望動機についても確認）、人間の発達と教育にかかる理解や関心のほか、特別支援教育を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。
教 科 教 育 専 攻	国語教育	国語に関する文章を読ませ、それをもとに、いくつかの課題を行わせることにより、国語の諸問題への理解や関心、またその発信力、表現力、教科を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。試験は個人面接の形式で行う。
	社会科教育	人文、社会等の分野から選んだテーマに関する講義等を行い、レポートを課し、人文、社会等にかかる理解や関心、社会科を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。
	数学教育	数学の問題を課し、白板や模型等を使って解決させ、その解決過程等について個人面接の形式でプレゼンテーションを行わせ（※）、数学にかかる理解や関心のほか、算数・数学科の教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて、算数・数学科の教員になることを目指す理由や、算数・数学についての経験やアピールを確認する。 ※志願者数により、プレゼンテーションに代わって記述式試験で評価することがある。
	理科教育	自然科学におけるものの見方、考え方に関係するテーマに関する講義を行い、レポートを課し、自然科学に関する関心や、科学的な思考力・表現力を身につける意欲、そのほか理科を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。
	音楽教育	小学校音楽科の授業内容に関する講義を行い、レポートを課した後、レポートについて個人面接の形式でプレゼンテーションを行わせ、その内容に基づいて質疑応答を行い、志望理由書などの内容も踏まえながら、現代の教育実践に対する理解や関心ならびに地域の初等教育への意欲を評価する。実技試験として、子どもの歌の弾き歌いをさせ、音楽を担当する教員としての適性と資質・能力を評価する。 ○加点対象となる公的な資格等 ・生徒会活動（会長、副会長などの生徒会役員に1年以上）、部活動（2年以上） 【持ち物】 受験生自身が選択した子どもの歌（1曲）の弾き歌い用楽譜
	美術教育	大学教員が指導者となって授業を行い、その中で、実技（図画工作の授業でも扱われるようなテーマでの紙による立体製作）とレポートを課す。授業の中での、①導入やまとめの時間での授業者と受験生との対話、②実技内容、③実技に関するレポートが評価対象となる。これらを通して、図画工作（美術）における理解力と思考力、技能と表現力を問い、子どもたちに創造活動の楽しさを味わわせることができる基盤となる小学校教員としての資質・能力を総合的に評価する。 【持ち物】 はさみ、カッターナイフ、鉛筆、消しゴム、雑巾。その他の用具は持参しないこと。 なお、カッターマット、定規、のり、セロハンテープ、ホッチキス、のり付け用の紙、仮とめ用のクリップ、立体製作用の造形紙（B3判の両面色違いの造形紙〈厚口5枚組〉、B4判の両面色違いの造形紙〈薄口5枚組〉）は、大学で用意するので不要。

別表5-2 理解力・表現力試験等の内容、評価の観点、加点対象となる公的な資格等

教科教育専攻	保健体育	<p>運動に関する課題やテーマを与え、実技等を行わせ、スポーツ文化についての理解や関心、健康教育の重要性の認識のほか、保健体育を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。上記とあわせて、個人面接の形式で志望動機、スポーツ経験（スポーツ・運動歴調書の内容を含む）、保健体育についての興味・関心、抱負等についても評価する。</p> <p>【持ち物】 運動靴（室内用と屋外用の2足）・運動服 なお、スパイクシューズの使用は認めない。着替えやウォーミングアップについては、集合時に指示する。</p>
	家庭科教育	<p>家庭科の学習内容に関するテーマを与え、それについて白板等を使って説明等を行わせる。その内容に基づいて質疑応答を個人面接の形式で行い、家庭科の知識・理解のほか、小学校で家庭科を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。</p> <p>○加点対象となる公的な資格等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国高等学校家庭科被服製作技術検定2級以上 ・全国高等学校家庭科食物調理技術検定2級以上 ・全国高等学校家庭科保育技術検定2級以上 <p>（公益財団法人 全国高等学校家庭科教育振興会）</p>
	技術教育	<p>ものづくりに関する課題やテーマを与え、実技等を行わせ、その過程等についてプレゼンテーションを行わせ（※）、ものづくりに関する知識や技能のほか、中学校技術科の教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて、個人面接の形式で中学校技術科の教員になることを目指す理由や、ものづくりについての経験等を確認する。</p> <p>※志願者数により、プレゼンテーションに代わってレポートを課すことがある。</p> <p>【持ち物】 汚れてもよい服（体操服など）</p>
	英語教育	<p>英語教育に関する講義を行い、レポートを課した後、レポートについてプレゼンテーションを行わせる。さらに、プレゼンテーションに基づいて個人面接の形式で質疑応答を行い、英語教育にかかる理解や関心のほか、英語を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて、教員への適性と意欲を確認する。使用言語は原則的に英語とする。試験での辞書等の使用は認めません。</p> <p>○加点対象となる公的な資格等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英検1級、英検準1級、英検2級
伝統文化教育専攻	書道教育	<p>書道（楷書、行書、かな）に関する課題やテーマを与え、実技等を行い、書道にかかる理解や関心のほか、書道教育を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて、個人面接の形式で書道教育にかかる熱意及び意欲について確認する。</p> <p>【持ち物】 漢字用半紙・仮名用半紙・漢字用半紙に4文字から6文字用の筆・仮名用半紙に古筆原寸大臨書ができる仮名用小筆・墨（墨汁可）・硯・下敷き・文鎮等、書道用具一式。</p>
	文化遺産教育	<p>文化遺産の材質に関する講義を行い、レポートを課した後、レポートの内容に基づいて質疑応答を個人面接の形式で行い、文化遺産にかかる理解や関心のほか、理科ないし美術を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。</p>

別表5-3 留意事項及び大学入試センター試験受験科目指定一覧

(1) 留意事項

◎大学入試センター試験の教科・科目一覧表

- 外国語
 - ・「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」
- 国語
 - ・「国語」
- 数学
 - ・「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」
 - ・「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」
- 地理歴史・公民
 - ・「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「現代社会」
 - 「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」
- 理科
 - ・「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」
 - ・「物理」「化学」「生物」「地学」

1. 外国語については、全専修必須とする。
2. 外国語のうち「英語」を選択した場合、【筆記】のほか、【リスニング】の成績も用いる。
その場合、【筆記】（200点満点）と【リスニング】（50点満点）の合計得点を200点満点に換算する。
なお、【リスニング】免除者については、【筆記】（200点満点）のみを用いる。
3. 数学、地理歴史・公民、理科（基礎を付していない科目）について2科目受験した場合、高得点の科目の成績を優先して用いる。
4. 理科（基礎を付している科目）については、2科目受験を1科目受験として扱う。
5. 理科（基礎を付している科目）2科目及び理科（基礎を付していない科目）1科目を受験している場合、どちらか高得点の科目の成績を優先して用いる。
6. 理科において、理科（基礎を付している科目）から2科目、理科（基礎を付していない科目）から1科目を選択する場合、同一名称を含む科目を選択することも可とする。

例：理科（基礎を付している科目）→物理基礎、化学基礎
理科（基礎を付していない科目） 化学

別表5-3 留意事項及び大学入試センター試験受験科目指定一覧

(2) 大学入試センター試験受験科目指定一覧

専修名	大学入試センター試験 受験科目指定一覧
教育学	①外国語から1科目(200点) ②「国語」(200点) ③数学から1科目(100点) ④数学(③以外の科目)、地理歴史・公民、理科のうち、最も高得点の1科目(100点) 合計600点
心理学	①外国語から1科目(200点) ②「国語」(200点) ③数学から1科目(100点) ④地理歴史・公民から1科目(100点) 合計600点
幼年教育	①外国語から1科目(200点) ②「国語」(200点) ③数学から2科目(200点) 合計600点
特別支援教育	①外国語から1科目(200点) ②下記のi. ii. のいずれかのうち、高得点のもの(400点) i. 「国語」に加えて、数学、地理歴史・公民、理科のうち高得点の2科目 ii. 数学、地理歴史・公民、理科のうち高得点の4科目 合計600点
国語教育	①外国語から1科目(200点) ②「国語」(200点) ③数学、地理歴史・公民、理科から高得点の2科目(200点) 合計600点
社会科教育	①外国語から1科目(200点) ②地理歴史・公民から2科目(200点) ③下記のi. からiv. のうち、最も高得点のもの(200点) i. 「国語」 ii. 数学から2科目 iii. 理科から2科目 iv. 数学から1科目及び理科から1科目 合計600点
数学教育	①外国語から1科目(200点) ②「数学Ⅰ・数学A」及び「数学Ⅱ・数学B」(200点) ③下記のi. ～iv. のうち、最も高得点のもの(200点) i. 「国語」 ii. 地理歴史・公民から2科目 iii. 理科から2科目 iv. 地理歴史・公民から1科目及び理科から1科目 合計600点
理科教育	○以下の(1)または(2)のうち、高得点のもの (1) ①外国語から1科目(200点) ②「国語」(200点) ③理科から1科目(100点) ④地理歴史・公民、数学、理科(③以外の科目)のうち、最も高得点の1科目(100点) (2) ①外国語から1科目(200点) ②理科から2科目(200点) ③数学から2科目、または地理歴史・公民から2科目のうち、いずれか高得点のもの(200点) (1)(2) いずれも合計600点

別表5-3 留意事項及び大学入試センター試験受験科目指定一覧

(2) 大学入試センター試験受験科目指定一覧

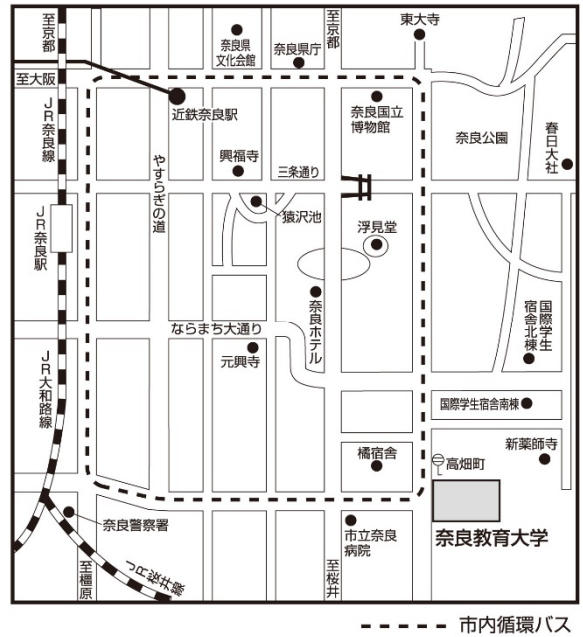
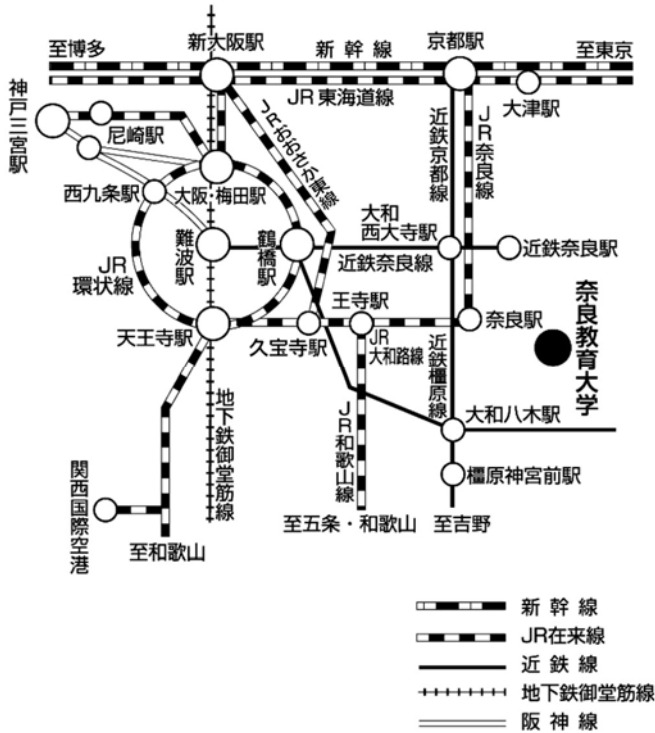
専修名	大学入試センター試験 受験科目指定一覧
音楽教育	①外国語から1科目(200点) ②「国語」(200点) ③「数学Ⅰ」または「数学Ⅰ・数学A」から1科目(100点) <div style="text-align: right;">合計 500 点</div>
美術教育	①外国語から1科目(200点) ②「国語」(200点) ③「数学Ⅰ」または「数学Ⅰ・数学A」から1科目(100点) ④数学(「数学Ⅰ」及び「数学Ⅰ・数学A」以外の科目)、地理歴史・公民、理科のうち、最も高得点の1科目(100点) <div style="text-align: right;">合計 600 点</div>
保健体育	①外国語から1科目(200点) ②「国語」(200点) ③「数学Ⅰ」または「数学Ⅰ・数学A」から1科目(100点) <div style="text-align: right;">合計 500 点</div>
家庭科教育	①外国語から1科目(200点) ②地理歴史・公民から1科目(100点) ③理科から1科目(100点) ④地理歴史・公民または理科のうち、上記②③の次に高得点の1科目(100点) <div style="text-align: right;">合計 500 点</div>
技術教育	①外国語から1科目(200点) ②「数学Ⅰ」または「数学Ⅰ・数学A」から1科目(100点) ③数学から「数学Ⅰ」及び「数学Ⅰ・数学A」以外の1科目(100点) ④理科(基礎を付していない科目)から1科目、 または理科(基礎を付している科目)から2科目(100点) <div style="text-align: right;">合計 500 点</div>
英語教育	①外国語から1科目(200点) ②「国語」(200点) ③「数学Ⅰ」または「数学Ⅰ・数学A」から1科目(100点) ④「数学Ⅱ」または「数学Ⅱ・数学B」から1科目(100点) <div style="text-align: right;">合計 600 点</div>
書道教育	①外国語から1科目(200点) ②「国語」(200点) ③数学、地理歴史・公民、理科のうち、最も高得点の1科目(100点) <div style="text-align: right;">合計500 点</div>
文化遺産教育	①外国語から1科目(200点) ②「国語」(200点) ③数学、地理歴史・公民、理科のうち、高得点の2科目(200点) <div style="text-align: right;">合計 600 点</div>

令和 2 年度特別入試方法（帰国生徒）

実施学部	教育学部			
募集人員	専攻・専修・履修分野			募集人員
	教育発達専攻	教育学専修		若干名
	教科教育専攻	理科教育専修	初等教育履修分野	若干名
			中等教育履修分野	
英語教育専修	中等教育履修分野			
出願要件	<p>日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者のうち外国の学校教育を受けた者で、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たしている者</p> <p>(1) 基礎資格 次のいずれかに該当する者</p> <p>ア. 学校教育における 12 年の課程を卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者</p> <p>イ. 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者</p> <p>ウ. ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者</p> <p>エ. フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者</p> <p>オ. グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE-A レベル）資格を有する者</p> <p>(2) 要件 次に掲げるすべての要件に該当すること。</p> <p>ア. 平成 30 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日までの間に基礎資格を取得していること。</p> <p>イ. 12 年の課程には日本における通常の課程による学校教育の期間も含まれるが、外国において最終学年を含めて 2 年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けているか、または、日本の教育制度の中学校及び高等学校に相当する期間のうち、外国において中学校ないし高等学校に通算 3 年以上在籍した者（ただし、日本の高等学校等の在籍期間は 2 年以内の者）</p> <p>(注) 外国に設置されたものであっても日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は、外国において学校教育を受けた者とはみなされません。</p> <p>出願資格について疑問のある場合は、事前にお問い合わせください。</p>			
選抜方法	大学入試センター試験を免除し、出願書類（自己推薦書、成績証明書等（調査書））、小論文及び面接等の結果を総合して選抜します。			
出願期間	令和元年 10 月 4 日（金）から令和元年 10 月 10 日（木）まで（消印有効）			
試験期日	令和元年 11 月 9 日（土）			
合格発表日	令和元年 11 月 28 日（木）			

実施学部	教育学部																																																	
募集人員	各専修若干名																																																	
出願要件	<p>下記の資格をすべて有する者</p> <p>(1) 外国籍を有する者（ただし、日本国の永住許可を得ている者は対象としません。）で、次の各号のいずれかに該当する者</p> <p>(ア) 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和 2 年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者</p> <p>(イ) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者</p> <p>(ウ) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者</p> <p>(エ) フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者</p> <p>(オ) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE-A レベル）資格を有する者</p> <p>(2) 独立行政法人日本学生支援機構『日本留学試験』の平成 30 年度（第 1 回・第 2 回）、平成 31 年度（第 1 回）のうちいずれかを受験した者で、次の各号のすべてに該当する者</p> <p>① 各専修が指定する教科及び科目を受験した者。</p> <p>② 日本語 250 点以上の成績を修めた者。ただし、日本語は、読解、聴解・聴読解、記述の 3 領域を含む。</p> <p>③ 数学、総合科目の合計点 210 点以上、もしくは数学、理科の合計点 220 点以上の成績を修めた者。</p> <p>※本学を受験するにあたり、必要な日本留学試験の教科及び科目について ○：必須、△：選択</p>																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">専攻名</th> <th rowspan="2">専修名</th> <th colspan="4">教科</th> <th rowspan="2">出題言語</th> </tr> <tr> <th>日本語</th> <th>数学</th> <th>総合科目</th> <th>理科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">教育発達専攻</td> <td>教育学専修</td> <td rowspan="4">○</td> <td rowspan="4">○ コース I 又は コース II の うち 1 つ 選 択</td> <td rowspan="4">○</td> <td rowspan="4">△</td> <td rowspan="4">日本語 又は 英語を 選 択</td> </tr> <tr> <td>心理学専修</td> </tr> <tr> <td>幼年教育専修</td> </tr> <tr> <td>特別支援教育専修</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">教科教育専攻</td> <td>国語教育専修</td> <td rowspan="10">○</td> <td rowspan="10">○ コース I 又は コース II の うち 1 つ 選 択</td> <td rowspan="10">○</td> <td rowspan="10">△</td> <td rowspan="10">△ 物理、化学、生物の うち 2 科目選択</td> </tr> <tr> <td>社会科教育専修</td> </tr> <tr> <td>数学教育専修</td> </tr> <tr> <td>理科教育専修</td> </tr> <tr> <td>音楽教育専修</td> </tr> <tr> <td>美術教育専修</td> </tr> <tr> <td>保健体育専修</td> </tr> <tr> <td>家庭科教育専修</td> </tr> <tr> <td>技術教育専修</td> </tr> <tr> <td>英語教育専修</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">伝統文化教育専攻</td> <td>書道教育専修</td> <td rowspan="2">○</td> <td rowspan="2">○</td> <td rowspan="2">○</td> <td rowspan="2">△</td> <td rowspan="2">△ 物理、化学、生物の うち 2 科目選択</td> </tr> <tr> <td>文化遺産教育専修</td> </tr> </tbody> </table> <p>△ 数学教育、理科教育、家庭科教育及び技術教育専修の場合、総合科目又は理科（2 科目）のうちいずれかを選択。</p>						専攻名	専修名	教科				出題言語	日本語	数学	総合科目	理科	教育発達専攻	教育学専修	○	○ コース I 又は コース II の うち 1 つ 選 択	○	△	日本語 又は 英語を 選 択	心理学専修	幼年教育専修	特別支援教育専修	教科教育専攻	国語教育専修	○	○ コース I 又は コース II の うち 1 つ 選 択	○	△	△ 物理、化学、生物の うち 2 科目選択	社会科教育専修	数学教育専修	理科教育専修	音楽教育専修	美術教育専修	保健体育専修	家庭科教育専修	技術教育専修	英語教育専修	伝統文化教育専攻	書道教育専修	○	○	○	△	△ 物理、化学、生物の うち 2 科目選択
専攻名	専修名	教科				出題言語																																												
		日本語	数学	総合科目	理科																																													
教育発達専攻	教育学専修	○	○ コース I 又は コース II の うち 1 つ 選 択	○	△	日本語 又は 英語を 選 択																																												
	心理学専修																																																	
	幼年教育専修																																																	
	特別支援教育専修																																																	
教科教育専攻	国語教育専修	○	○ コース I 又は コース II の うち 1 つ 選 択	○	△	△ 物理、化学、生物の うち 2 科目選択																																												
	社会科教育専修																																																	
	数学教育専修																																																	
	理科教育専修																																																	
	音楽教育専修																																																	
	美術教育専修																																																	
	保健体育専修																																																	
	家庭科教育専修																																																	
	技術教育専修																																																	
	英語教育専修																																																	
伝統文化教育専攻	書道教育専修	○	○	○	△	△ 物理、化学、生物の うち 2 科目選択																																												
	文化遺産教育専修																																																	
選 抜 方 法	大学入試センター試験を免除し、日本留学試験の成績と、本学で実施する試験の成績・面接等の結果を総合して選抜します。																																																	
出 願 期 間	令和元年 10 月 4 日（金）から令和元年 10 月 10 日（木）まで（消印有効）																																																	
試 験 期 日	令和元年 11 月 9 日（土）																																																	
合 格 発 表 日	令和元年 11 月 28 日（木）																																																	

奈良教育大学への順路



京都から

近鉄京都線で近鉄奈良駅まで特急約35分、急行45分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

新大阪から

JR東海道本線で大阪駅へ、JR大阪環状線（外回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約60分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

大阪から

JR大阪環状線（外回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約50分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

難波から

近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約35分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

天王寺から

JR大和路快速で、JR奈良駅まで約30分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ
JR大阪環状線（内回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約45分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

神戸三宮から

阪神本線（快速急行）〔近鉄奈良行き〕で近鉄奈良駅まで約80分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

関西国際空港から

空港バスで近鉄奈良駅まで約80分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ